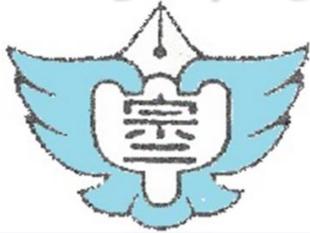


宗岡二中だより 1月号



令和8年1月8日

自ら学び考える生徒

学校教育目標：心豊かな優しい生徒

明るく元気な生徒

運命よ、そこをどけ。私が通る。

Out of my way, your fate. I'm going through.

校長 伊藤大輔

皆さんは「オニツカタイガー」というブランドを知っていますか。1964年の東京オリンピックの頃、すでに優れたスポーツシューズのブランドとして海外にもその名を広めた日本のブランドです。1960年代にそのオニツカタイガーの優れたスポーツシューズにほれ込んだ人物が、母国アメリカでの販売権を取得して地元オレゴンでスポーツシューズの輸入を手掛けます。そして、1970年代はじめに新たな社名で独自ブランドを立ち上げます。ギリシャ神話に登場する勝利の女神「ニケ」にちなんで名づけられた、その社名こそ「ナイキ」です。

ナイキは1990年代に、バスケットボールの神様と呼ばれるマイケル・ジョーダンを起用して伝説的なCMを作ります。そのCMはシカゴ・ブルズのホームであるユナイテッドセンターの地下駐車場に到着してからアリーナに入るまでの姿を追うモノクロ映像です。ジョーダン自身によるナレーションが入ります。

キャリアを通して9000本以上のシュートを外してきました。300試合以上負けている。26回、ウイニングシュートを任されながらも外した。人生で失敗してきた。何度も、何度も、何度も。それこそが、私が成功した理由だ。無理だなんて決して口にしない。限界なんて恐怖と同じで、たいていは幻想にすぎない。

ジョーダンはあえて「失敗」を語ります。その語りは、多くの視聴者の心を動かしました。

人は弱い存在です。嫌なこと、気の進まないこと、かつたるいことを前に立ち往生します。「でも・だって・どうせ」が口癖になって現実から目を背けたくなります。私にも、そんなことがあります。そういうと

き私は、ありのままに向き合うよう努めます。後ろ向きの気持ちがあれば、そのことを自覚し受け入れます。「自分を大切にできているか。」と自問します。自分の今から目を背け、自分を乱暴に扱ったりすることは、ここまで生きてきた自分に対して極めて失礼なふるまいではないかと思うからです。さらに、ここまで自分を支えてくださった、たくさんの方々に対しても大変無礼な行為だと思うからです。

今月の標題は、ジョーダンを支えた言葉です。試合中ピンチになった時、人生でつらいことがあった時、これが自分の運命なのかとあきらめかけた時、心の中で放った強烈な言葉です。「運命」を“**your fate**”と表現しています。降りかかって来た運命に対して、「そんなの自分の運命じゃない。運命は私が決める」という強い意志の表れです。

さて3学期が始まります。最後の仕上げを行う学期です。と同時に次の舞台に向けて準備を整える学期です。3年生は進路決定に力を尽くす期間、そして新たな道を歩む力を蓄える期間です。2年生は最上級生として宗二中をリードする力を身に付ける期間です。1年生は中堅学年として、4月に迎える新入生に範を示す力を付ける期間です。近い未来の姿を思い描きつつ、残された日々を丁寧に過ごしてください。運命に抗う強い心をもって、果敢に挑んでください。支え合い、高め合ってください。そのために「わたし」を大切にしましょう。自分を大切にすることは、誰かを救う力になります。そして「あなた(周りの人)」を大切にしましょう。誰かを大切にすることは、自分を育てる力になります。